

The background image shows a lush green park with several large, mature trees. In the foreground, there is a rocky stream or waterfall with clear, flowing water. A person is visible on the right side, near the rocks. The overall atmosphere is natural and serene.

稻田公園再整備事業

川崎市建設緑政局緑政部みどりの保全整備課

令和8年2月

00

対象事業と目的

- 稲田公園は、昭和46年の開設以降、多摩地域の豊かな水と緑に親しむ場として、多くの地域住民から愛され、散策や子どもの遊び場として利用されています。
- 一方で、回遊性や柔軟な利用の確保、利便性の向上、施設の老朽化などの課題を抱えていることから、再整備に向けた検討を進めています。

▷ 稲田公園再整備の考え方(案)

<https://www.city.kawasaki.jp/templates/pubcom/530/0000182129.html>

- 本意見交換会は、再整備への民間活力導入の可能性を確認するため、民間事業者の皆さまから、効果的な事業手法や民間ノウハウ発揮の余地、参画意向などについての御意見を伺い、基本計画の策定に向け、参考とさせていただくものです。

01

稻田公園の立地



所在地

- 多摩区菅稻田堤2-9-1

アクセス

- JR南武線・稻田堤駅から徒歩約8分(約500m)
- 京王線・京王稻田堤駅から徒歩約9分(約600m)
- コインパーキングあり(最大駐車台数32台)

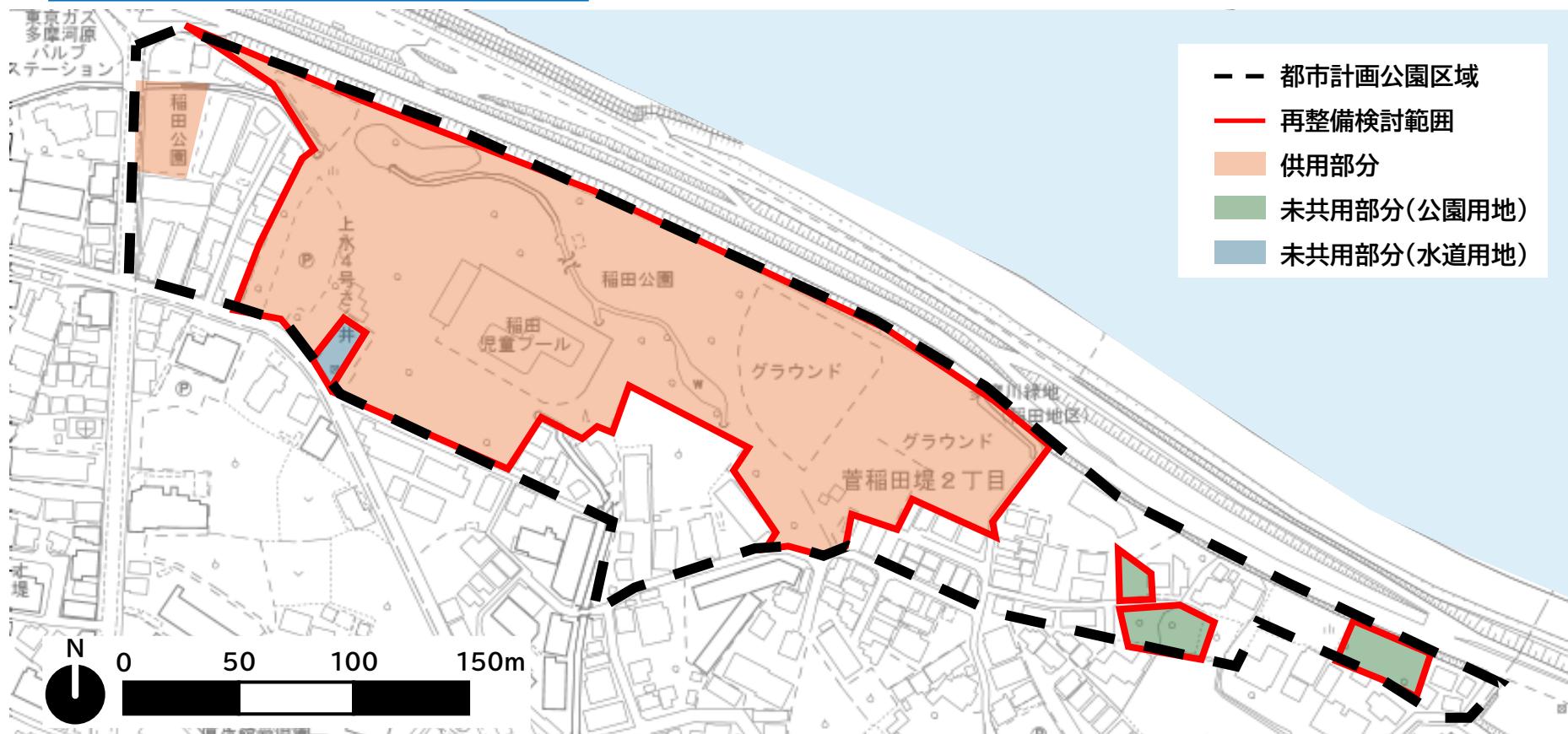
01 稲田公園の立地



土地

- 2路線の両駅から徒歩10分圏内の住宅地に位置
- 北側には多摩川が流れ、周囲には梨畠等の生産緑地が隣接
- 用途地域:第一種中高層住居専用地域、建蔽率:60%

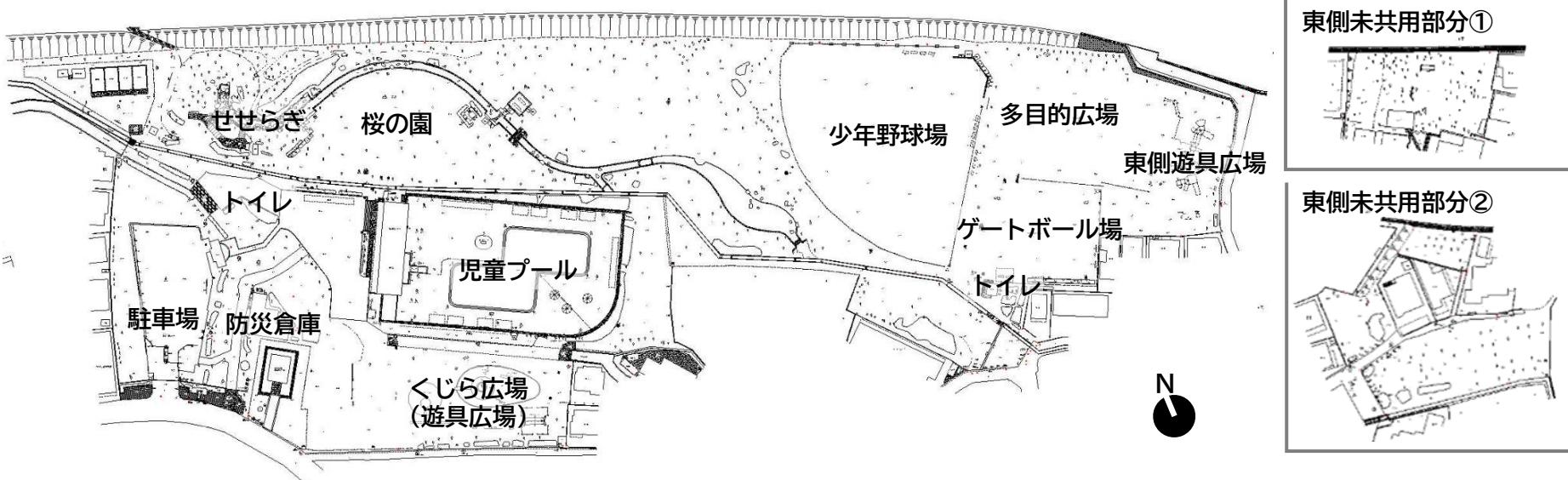
02 稲田公園の概要



基本情報

- 開園:昭和46年
- 管理面積:31,540m²
- 公園種別:地区公園

02 稲田公園の概要



東側未共用部分①



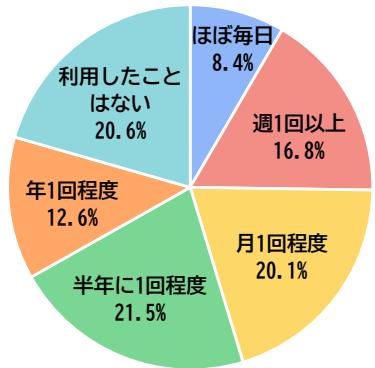
東側未共用部分②



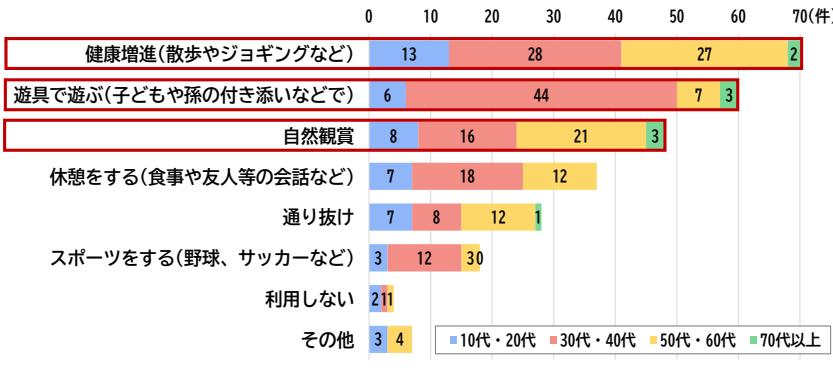
03 稲田公園の利用状況

- 平日は、主に近隣の保育園の園外活動の場や、児童の放課後の遊び場、地域の高齢者によるゲートボール場の利用が多数
- 休日は、親子連れの家族の利用が多いほか、地元の少年野球連盟により少年野球場がほぼ毎週利用
- 団体等による公園利用は毎年100件程度あり、地域のイベントやサッカークラブ、保育園・幼稚園等で活用される
- 生活に身近な公園として親しまれている**

近隣住民の公園利用頻度



近隣住民の公園の利用目的



駐車場と児童プールの利用者数

年度	利用(者)数	
	駐車場(台)	児童プール(人)※
H31	14,758	6,644
R2	16,275	1,050
R3	17,854	3,894
R4	16,303	7,333
R5	17,602	8,203
R6	14,574	7,653

※児童プールの開催期間は7月10日～8月31日(53日間)、R2とR3の7月は、新型コロナウィルス感染症拡大により非開催

04 稲田公園の収支状況

- 駐車場、児童プールによる収入は約920万円/年
- 児童プール運営に伴う歳出は約2,600万円/年
- この他、園内清掃(せせらぎ、トイレ等)、樹木管理等を実施

主な収支内容			年間収支(R6年度)
駐車場	営業時間	年中無休、5時～22時 ※22～5時までは入庫不可。 24時間出庫可。最大駐車台数は32台。	【収益】 7,927千円
	使用料	最初の2時間/400円、以降30分/50円	
児童 プール	営業時間	7月10日～8月31日（令和6年度実績） 9時～17時（最終入場：15時30分）	【歳出】 26,000千円 【歳入】 1,259千円
	使用料 (1人1回)	小人(3歳以上15歳未満(中学生含む))/100円 (3～15歳未満限定) 大人(15歳以上)/300円 (小学生未満は大人の付添いが必要)	



05 稲田公園の課題

- 点在している遊具や、園内中央で空間を分断している児童プールなどの施設のあり方や配置の検討
- バリアフリー未対応の施設や繁茂した樹木、薄暗いトイレ等防犯面の課題を解決する施設整備
- トイレや遊具をはじめとする老朽化した施設の更新や改修、樹木の適正な維持管理

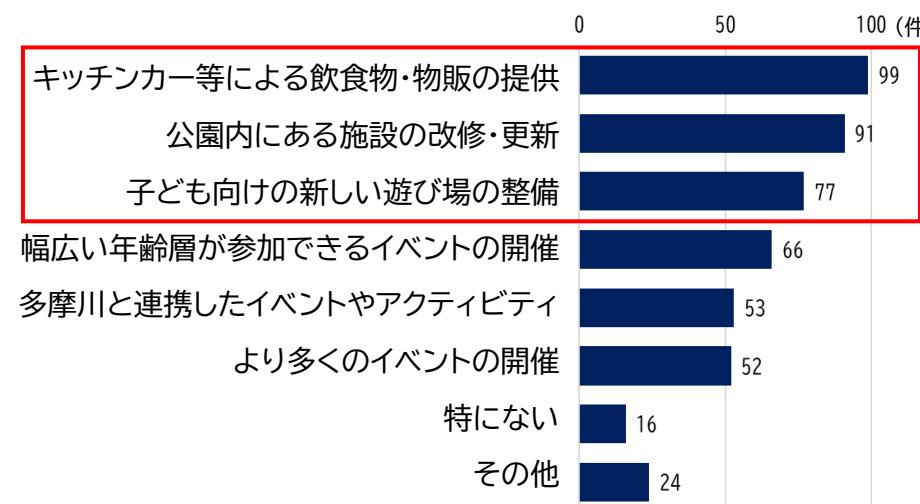


(左)せせらぎ・桜の園とくじら広場を分断する児童プール
(中)狭小でバリアフリー化未対応な出入口
(右)壊れた複合遊具

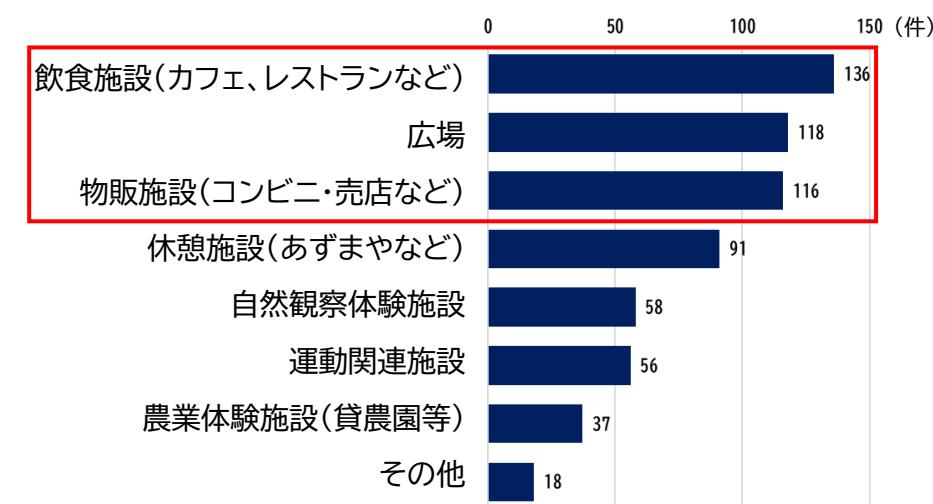
06 市民ニーズ

- 近隣住民・公園利用者（イベント参加者）のアンケートにおいて、飲食物・物販の提供、施設の更新、子ども向けの遊び場・広場整備へのニーズが多数あり
- その他、自由意見として、現状の水と緑の保全、除草・樹木の手入れ、日陰対策への要望あり
- 町内会との意見交換会やオープンハウス型説明会を実施予定

近隣住民が求める整備内容 【R6イベント実施後調査(n=214)】



公園利用者が求める整備内容 【R6イベント実施時調査(n=630)】



07 過去のPPPプラットフォームでの意見

実施概要

■ 再整備の考え方反映

- 日時:令和6年3月11日・12日
- 参加:民間9社(建設・運営管理・コンサル等)
- 形式:個別対話

事業に関する主な意見

- 公園の将来像・ゾーニングの明確化が必要
- 周辺導線(駅～公園・多摩川)の改善が必要
- 収益性は限定的で、大規模民間投資は困難
- 一定の行政負担が必要であり、指定管理者制度が妥当
- P-PFIの場合、特定公園施設の整備としては小規模施設(トイレ等)なら可能
- 複数スキーム併用はごみ管理等が煩雑となるため一括管理が望ましい
- スポーツ・親水・広場機能を拡充したほうがいい

07 過去のPPPプラットフォームでの意見

施設整備に関する主な意見

- 既存施設の改修・機能拡充
 - ・鬱蒼とした樹木により外周景観改善が必要
 - ・広場が分断されているため、一体的な防災空間が必要
 - ・芝生広場、可動式・インクルーシブ遊具の整備が望ましい
 - ・野球場利用時に駐車場が不足
- 新機能(スポーツ・親水)の整備
 - ・乳幼児向け親水施設や噴水で熱中症対策が可能
 - ・BMX・スケボー施設で幅広い利用が可能
 - ・フットサルコートと広いエントランスを整備しスポーツパーク化が可能
- 農園・飲食ほか
 - ・貸農園は500m²以上の土地で、土壤改良・水道整備が必須
 - ・カフェは収益性が低く、P-PFIの実施は困難
 - ・ドッグランはトラブルが多く、慎重な検討が必須

■ 実証実験(R6)で調査

■ 再整備の考え方反映

08

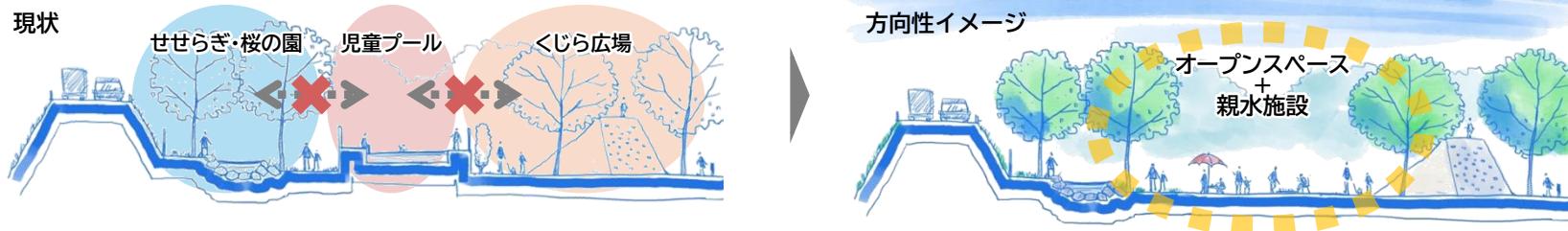
再整備の将来像と方向性

将来像

水とふれあい緑とふれあう ~いつも いつまでも いなだ~

方向性

- 水と緑を活かした新しい環境づくり
「児童プール」を「オープンスペース + 親水施設」に整備



- 誰もが気軽に集える生活に身近な場づくり
植栽管理、老朽化した施設の更新やバリアフリー化
- 地域に愛される魅力を継承する公園づくり
グリーンインフラ、ネイチャーポジティブ、暑熱対策

再整備の将来像と方向性

再整備イメージ

- 現在の利用状況を踏まえて、園内を4つのゾーンに分け、方向性と内容を検討

※添付写真はすべてイメージです。※整備内容や面積は、事業進捗や民間対話等を経て変更が生じる可能性があります。

水と緑 ゾーン

桜の園の利用者が快適に利用できるよう、根上がりや踏圧でできた凹凸の不陸整正を行なうほか、パークゴラ等の休憩施設の設置を行う。稻田公園の魅力のひとつであるせせらぎの補修や利用ルール等の掲示を行い、安心・安全に利用できる環境づくりを推進し、水と緑の魅力を一層高める。



【主な施設等整備】

- 休憩施設の設置
- **せせらぎの補修** [700m²]
- 繁茂した草地の整備

スポーツ ゾーン

野球場やゲートボール場、サッカー等を楽しむ多目的広場の機能を維持向上させるため、不陸整正等を行なうほか、利用者の利便性や快適性の向上に向け休憩施設の整備を行う。スポーツ施設や多摩川の利用者が快適に利用できるようにトイレの改修を行う。



【主な施設等整備】

- 休憩施設の設置
- 東側遊具広場の撤去 [400m²]
- **トイレ(東側)の改修**
- 少年野球場の補修 [3,040m²]
- ゲートボール場の補修 [500m²]
- 多目的広場の補修 [980m²]

エントランス ゾーン

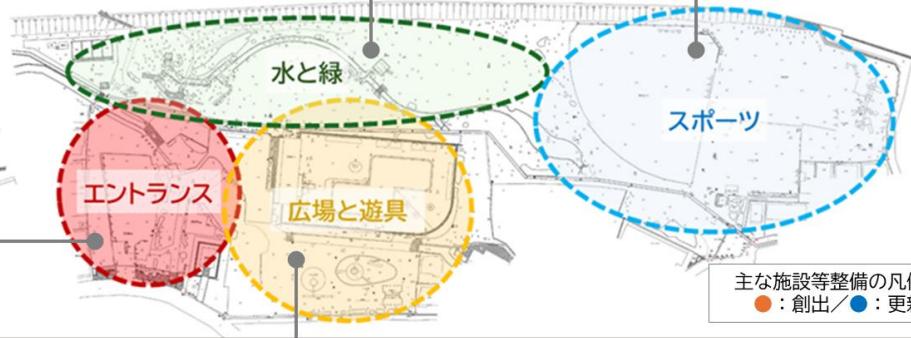
既存出入口に隣接する水道用地を活用し出入口及び駐車場の整備・改修を行い、利便性の向上とバリアフリー化を図る。また、トイレの改修を行い、誰もが安心して利用できる施設整備を行う。

民間活力導入の際は、防災備蓄倉庫を管理事務所等として改修するなど、施設の有効活用を検討する。

【主な施設等整備】

- 出入口の整備(水道用地含む) [520m²]
- **トイレ(駐車場側)の改修** [22m²]
- 駐車場の改修 [1,020m²]

出入口の整備



主な施設等整備の凡例
●: 創出 / ●: 更新

全体

【主な施設等整備】

- 園路の整備(バリアフリー化)
- 植栽管理
- 電気・給排水施設の改修



広場と遊具 ゾーン

稻田公園の水と緑の魅力をより一体的に感じられる空間の創出を目指し、児童プールを撤去し、オープンスペース(草地広場)と親水施設の整備を行う。また、くじら広場と東側遊具広場の機能を集約し、遊具更新等の施設整備を行う。

創出したオープンスペースでは、民間活力の導入を視野に入れながら、公園利用者からのニーズの高い飲食施設や物販施設等の設置、イベントの開催等を検討し、新たなニーズに対応するほか、公園の魅力を一層高める。

【主な施設等整備】

- 草地広場の新設 [2,705m²]
- **親水施設(ポップジャット等)の整備**
- 児童プールの撤去 [2,500m²]
- 管理棟+広場の撤去 [705m²]
- **くじら広場の改修** [5,000m²]

親水施設の整備



09

事業条件(案)

※当該条件(案)は、事業手法の決定に伴い、変更が生じる可能性があります。

施設整備

- 市想定の将来像やゾーニングを踏まえた施設整備
- 地域住民の懸念する交通渋滞や防犯面を考慮

ゾーン	名称	整備方針(案)				備考
		継続	改修	撤去	新設	
エントランス	出入口		●			隣接する水道跡地を活用した出入口の拡張・バリアフリー化
	駐車場		●			バリアフリー化、台数や面積の増加は必要に応じて可能
	防災備蓄倉庫	●				現状の備蓄品を収納できれば改築等可能
みどりと水	せせらぎ	●				防水処理等の軽微な補修
	桜の園	●				可能な限り伐採をせずに保全または補植
広場と遊具	児童プール・管理棟			●		「草地広場・親水施設」設置に向け撤去
	草地広場 + 親水施設				●	児童プール・管理棟跡地に、長期間供用可能な親水施設の整備
	くじら広場		●			児童用遊具(小学生)・幼児用遊具(未就学生)でエリア分けを行う
スポーツ	東側遊具広場			●		くじら広場に機能統合を行うため、既設遊具の撤去及び出入口を整備
	少年野球場	●				機能向上に向けた軽微な補修(地面の凹凸の調整)
	多目的広場	●				機能向上に向けた軽微な補修(地面の凹凸の調整)
	ゲートボール場	●				機能向上に向けた軽微な補修(地面の凹凸の調整)
	フィットネス広場				●	運動遊具の移設または新設

09

事業条件(案)

※当該条件(案)は、事業手法の決定に伴い、変更が生じる可能性があります。

維持管理

- 現状を下回らない管理水準(範囲や頻度)の維持
- 適正な樹木管理の実施
- 駐車場は管理業務に含めることが可能

賑わい創出

- 飲食・物販施設の提供(形態問わず、休日は必須)
- 多世代が楽しめるイベントの実施(年2回程度)

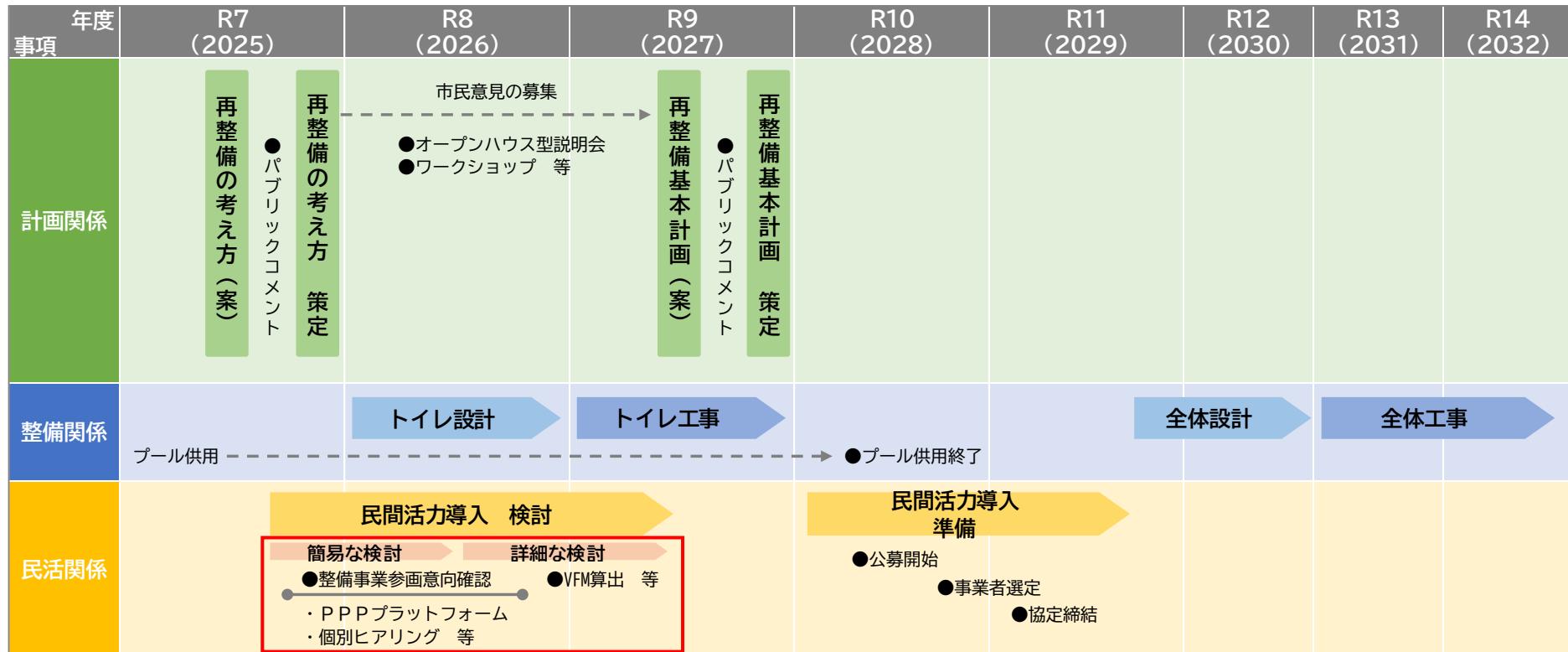
市政協力

- 利用者意向の収集及び改善の実施

10

事業スケジュール

※下図は整備において、民間活用手法を導入する場合のスケジュールです。
今後の検討結果により変更が生じる可能性があります。



- パブリックコメント(令和7年12月から令和8年1月にかけて実施)の結果等を踏まえ、年度内に再整備の考え方を策定
- 年度内にPPPプラットフォームの結果を公表予定
- 来年度以降に上記を踏まえた基本計画の策定を予定

意見交換項目

稻田公園及び
周辺のポテンシャル

- 立地・交通・周辺の施設等の状況を踏まえたポテンシャル
- 公園活用アイデア

事業参画の可能性

- 参画の可能性の有無
- 可能性のある事業手法(PFI、Park-PFI、指定管理等)

再整備の考え方(案)
への意見

- 提示した将来像や方向性、整備イメージ

参画のための
判断材料

- 市の負担の範囲、駐車場の必要規模、社会実験の必要性
- 市に提供を求める資料等

その他

- ヒアリングを推奨する事業者や連携が考えられる事業者